



臨床美術ジャーナル Vol.10 No.1 (2021) 目次

【巻頭言】

コロナ禍における臨床美術の活動

(日本臨床美術協会 理事長・臨床美術学会 学会長・東京藝術大学 名誉教授) 木戸 修

【原著】

内的精神活動を活性化する臨床美術～アルツハイマー病の人たちの美術活動とその作品から～

(日本臨床美術協会顧問) 宇野 正威

(芸術造形研究所) 大倉 葉子

子どもの心の傷つきの修復を目的とするオンラインによる臨床美術の成り立ち

ーコフートの自己心理学理論を援用した意味生成ケアの理論の構造化ー

(銀の権アートスタジオ研究室) 北澤 晃

臨床美術が見る子どもの表現ー「絵画の見方」研究との比較検討ー

(東北福祉大学) 青木 一則

「子ども・子育て支援」における臨床美術が果たす役割

～福島県南相馬市「ごかんであそぼ！」による保護者の変容を通じて～

(yoshi クリニカルアート研究室) 小野寺良枝

(国際NJO 特定非営利活動法人オペレーション・ブレッシング・ジャパン) 藤本 縁

新型コロナウイルス感染禍における臨床美術を通じた子どものレジリエンスの促進

(スタジオ*千ひろば) 島根 千尋



臨床美術士の実践知形成へ向かうプロセス

—修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ分析を通して

(クリニカルアート 野な美) 伊藤由美子

発達障害のあるアーティストの能力が引き出された要因

—両親と美術教師の歩みに関する広義の2E教育と臨床美術からの考察

(宇都宮大学大学院 国際学研究科博士課程) 三浦美恵子

【研究報告】

京都府立医科大学神経内科学「脳いきいきアート」の実践にみるオンライン講座の可能性

(京都<臨床美術>をすすめるネットワーク) フルイミエコ

【実践報告】

リワーク臨床美術セッションにおける存在論的人間観

(臨床美術「ほっかいどう」) 土門 環